

◎會 告

「支那號」の發刊に就て

本會は曩に大正十二年一月「印度號」を發刊して印度に關する一般製鐵業を照會し會員並に讀者より甚大なる好評を博したり、依て此種の計畫は時々之が實行を期せしも時局多端の折柄其意を果すを得ざりき、然るに去る三月本會總會の席上、工學博士服部漸君の「支那製鐵業に就て」と題する非常に有益なる講演ありたるを以て更に別掲の如く専門家諸氏に乞ひて之に關聯せる論文を掲載し之を「支那號」と稱して發刊することゝなれり、尙ほ二三斯界權威者の論文を掲載する豫程なりしも發案後期間短少にして其意を果さざりしは遺憾とする處なり、

尙又本號に於て滿洲に屬する部分を省畧せるは次の機會に於て同方面に於ける製鐵業を紹介す可き特別號發行の企圖あるに因る、本號に據りて支那に於ける製鐵業の狀況並に本邦製鐵業との關係等を窺知するの一助に資するを得ば本會の至幸とする處なり、

大正十三年六月

日 本 鐵 鋼 協 會